

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	04-01-01-08
事務事業名	地域農政推進対策事業		根拠法令・要綱等
			農業振興地域の整備に関する法律
事業開始年度	昭和47年～		問合せ先
大項目 基本目標	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり		担当課(室)
中項目 基本施策	豊かな食を支えるまちづくり		職・氏名
小項目 施策	農業		電話
			64-1831

事業の実施	
対象 (誰・何に対して)	農業者、農用地を利用する市民
目的 (何のために)	地域における農業の振興と地域の活性化を推進する
行政活動 (どのような方法で)	農業振興地域整備促進協議会を開催し、農業振興地域整備計画の変更を行っている。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	農用地利用計画について、地域の実態に即した計画的内容を検討し、適正な農用地の確保を図る。

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	農業振興地域整備促進協議会		回	1	2	1
	農業振興地域整備計画除外数		件	7	7	4
	直接事業費		千円	389	301	3,017
	人件費		千円	6,382	4,259	2,135
	事業費計			6,771	4,560	5,152
	国県支出金					
	受益者負担					
	一般財源			6,771	4,560	5,152
	必要人員		人	0.81	0.56	0.27
結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	農業振興地域整備促進協議会		説明			
	結果指標量	回		1	2	1
	対前年比	%		-	200.0%	50.0%
	活動コスト	円		4,351,902	2,964,000	3,348,800
単位当たりコスト	円		4,351,902	1,482,000	3,348,800	
結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	農業振興対策事業		説明			
	結果指標量	団体				
	対前年比	%				
	活動コスト	円				
単位当たりコスト	円					

事業の成果			
成果指標名	農業振興地域整備計画の変更申請に対して作業を進めるため、成果指標を定められない。	式又は説明	
成果指標量	17年度	18年度	19年度
対前年比			
到達目標値		到達目標年度	-

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

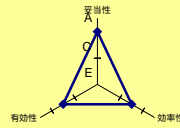
事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A-E>	B
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である		
対象	<input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
行政活動	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
コスト	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	課題認識	C
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		
効率性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	3つの農業振興地域整備計画となっているため、総合支所単位での除外地の確認等作業の効率化を図るべきである。	
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
手	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
職	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善している		
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	有効性評価<A-E>	C
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである		
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	毎年2回協議会を開催することは困難である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している			
<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している			
<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている			

平成20年度の状況		説明	備前・日生・吉永農業振興地域整備計画書の一本化を実施すること進めている。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 1回	結果指標量	1回
成果指標量		成果指標量	-

総合評価		評価区分 <A-E>	C
市民からの要望による整備計画の軽微変更が主なものでそれなりの成果は出ている。			



平成21年度以降の方向性		説明	平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する		
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する		

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果